



令和6年4月号



さくら開花

2024年の日立市のソメイヨシノの開花は次のとおりでした。

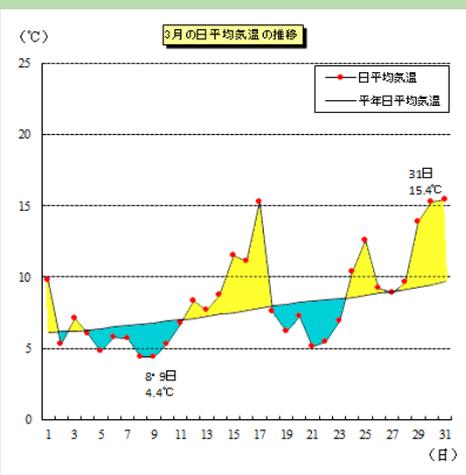
3月31日開花

昨年より10日遅く、最近10年の平均より4日遅い



3月の気候

3月は、周期的に高気圧や低気圧が進み、晴れの日と雨の日を繰り返して、上旬には標高の高いところの一部で雪が降る時もありました。気温も平年より高い日と低い日を繰り返しましたが、終わりに高い日が多くなり、月平均気温は8.4度と平年より高くなりました。月合計日照時間は201.5時間と平年よりも多くなり、月合計降水量は139ミリと平年の138パーセントと多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

天気は数日の周期で変わりますが、前半は低気圧や前線などの影響を受けやすい予想です。平均気温は「高い」、降水量は「平年並みか多い」、日照時間は、「平年並みか少ない」となる見込みです。



2024年のさくら

昨年12月から今年2月までの冬の期間の市役所での平均気温は最も高くなり、1月の平均気温も高い方から4位タイ、2月の平均気温は高い方から2位タイと2月にかけて暖かくなりました。また、氷点下の気温となった日(冬日)の日数も、1月は少ない方から6位タイ、2月は最も少なくなりました。この影響もあったのか、3月は平年より高い気温となりましたが、つぼみの生長はゆっくりで、最近10年間の平均の開花日より遅い開花となりました。

- ここ数年の開花日(かみね公園)は、
- 2023年 3月21日 2番目に早い
- 2022年 4月2日
- 2021年 3月17日 最も早い
- 2020年 3月23日 3番目に早い
- と早い年が多い中、2022年は遅く、今年もやや遅くなりました。

満開については2021年と2023年が最も早く3月28日、2018年は3月29日とこの3回が3月中に満開になっています。開花も早い年であり、開花後も気温が高い状態が続いたためと考えられます。開花及び満開は直前の気温の影響が大きいです。今年の開花は、少しこの傾向からは離れてしまったため、予想が大きく外れる結果となったと思われます。



天気用語の基礎知識

大雨特別警報2

大雨特別警報(土砂災害)は、土砂災害に対して警戒を促すものであるが、関係する注意報等には、「大雨注意報(土砂災害)」「大雨警報(土砂災害)」「土砂災害警戒情報」などがあるが、「大雨特別警報(土砂災害)」は、もともと土壌雨量指数の基準値が高くなっている。例えば、市内のある地点に土壌雨量指数の発表基準は、大雨注意報が74。大雨警報が108。土砂災害警戒情報が150(時間雨量30ミリの時)。大雨特別警報(土砂災害)が268、となっている。

・・・神峰の山から・・・

この時期になると、さくらやそれ以外の草木も花が開いたり、葉が出てきたりします。通勤時にみられる景色のなかで、昨日までは気づかなかつたのに花がたくさん咲いている木も出てきて、ちょっと驚かされる時もあります。山桜や大島桜は、葉もないため、遠くから見ると枯れ木のようにあつたものが、花が開くと急に色づいてきます。この後は、新芽が出て、葉の色も濃くなり、常緑樹も葉が入れ替わるなど、色づきも様々に変化し、視覚から季節の変化を感じさせてくれるようになります。

季節を感じられるように、余裕を持って生活していけたらいいですね。